もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

12

Dec 2023

No.345

JA庄内たがわ

ファミリーファーム

FAMILY FARM

地域に根付く農業を目指していく

温海支所管内 五十嵐（いがらし） 裕二郎（ゆうじろう）さん（26）
菫（すみれ）さん（26）

家業である養豚と農業を本格的に始めて今年で２年目になります。現在は養豚の仕事を手伝いながら農業を中心に力を入れており、水稲やあつみかぶ、アスパラを栽培しています。大学で養豚については学んでいたのですが、農業は初めてで父や地域の先輩農家からアドバイスをいただきながら日々勉強しています。

今年の猛暑による影響が特に大変で、川の水位が下がってしまい工事をして田んぼに水を引いたり、あつみかぶの芽が出ず蒔き直しをしたりと苦労しました。なんとか夏を乗り越えられてよかったなと思っています。

現在は、先輩たちに追いつけるように奮闘しており、山間部という条件でもおいしいお米がたくさん収穫できるよう頑張っています。農繁期は休む間もなく働くこともありますが、充実感に溢れています。

今後は、山・海・肉・野菜などおいしいものが何でもある温海の土地に根付くような農業をしていくことが目標です。

庄農生トライ

SHONOSEI TRY

地球の未来を支えられるように

食料生産科3年 柿崎（かきざき） 啓太（けいた）さん

私は庄内農業高校で農業を学ぶにつれ、林業に興味を持ちインターンシップをさせていただきました。そこで、林業は木を育て、森を作り、伐採、加工を行うという循環が大切だと学びました。しかし、経済成長に伴い木材から化石燃料への移行、またはプラスチック製品へのシフトが進み、この循環が鈍くなり、放置されている山が増えてきている現状も知りました。林業の果たす役割は大きく、水源涵養機能、自然災害防止、生物多様性保全などが挙げられます。これからの持続可能な開発目標（SDGs）に大きく貢献できる産業でもあり、未来のためにも必要不可欠な産業だと思います。このやりがいのある産業に魅力を感じ、高校卒業後は進学して林業について深く学び、地元鶴岡から林業を通して持続可能な循環型社会を目指し、将来は地球の未来を支えられるような仕事に就きたいと考えています。

人と自然、食べ物と生命、消費者と生産者。みんな絆で繋がっている。

エンジョイライフ

切り絵は私の大切な宝物

櫛引支所管内 秋山（あきやま） よし子さん（80）

動きが伝わってくるような
黒川能の切り絵です!

平成11年当時、櫛引東小学校の校長だった中里先生に誘われて切り絵教室に通い始めたのが切り絵との出会いです。先生が用意してくれた沢山の絵の中から主に櫛引地域に伝わる黒川能を題材として選びました。絵の白い部分を切り抜き裏から和紙やいろ紙を貼る作業です。細かい作業が多く根気が必要で、最初はとっても大変でしたが、完成時の喜びが大きく次第に没頭していきました。

他には風景や花、子どもなどの作品があり、特に子どもの生き生きとした表情を切るのが難しいです。出来上がった作品は、地域の銀行のロビーや櫛引地域の文化祭などに飾っていただきました。仕事の合間に作業しており、数カ月以上かかるものもあります。

私にとって切り絵は宝物です。まだ完成していない作品があるので完成できるよう頑張りたいです。そして、また新しく切りたい題材に出会えるよう心掛けたいと思っています。

三姉妹仲よく育ってね!

あいとキッズ

朝日支所管内 伊藤（いとう） 麦（むぎ）ちゃん（3）・苑（その）ちゃん（2）・杏（あん）ちゃん（0）

麦ちゃんはおっとりな性格でぬり絵好きな三姉妹のお姉ちゃん。おにごっこやお人形あそびも大好きです！

お姉ちゃんが大好きな苑ちゃんは、いつもお姉ちゃんのマネをして遊んでいます。歌と食べることが好きでカルパスや柿ピーが大好物！

末っ子の杏ちゃんはみんなのアイドル♪三姉妹仲よく、おしゃべりしながら遊んでいます。

なかよし姉妹!
ぎゅ〜♡

アンパンマンが
大好き!

雪あそび
楽しみ♪

寝返り
できるよ!

今年度は、山形県JA女性組織３ヶ年計画「JA女性　想いを一つに　かなえよう✤」の２年目。そして、山形県JA女性組織協議会創立70周年！アフターコロナの中体制を立て直し、「食・農・地域」の活性化に向け、役員をはじめ各支部で積極的に活動しました。SDGsや地域活性化、JA運営への参画など部員や地域の「幸せ（ハッピー）」に繋がる女性部員たちの活動をご紹介します！

日々を彩る、輝くJA女性部の活躍

主な活動紹介

三川支部　子どもたちと料理教室

三川地域の子どもたちと楽しく夏レシピ作り♪カレー、夏野菜サラダ、スープ、プリンを部員がアドバイスしながら作りました。

羽黒支部　フラワーアレンジメント

ユリや葉牡丹など６種類の花材を使ったフラワーアレンジメントに挑戦！花を挿す順番などお互いに声を掛け合いながら親睦を深めました。

櫛引支部　生け花教室

花の位置や高さに悩みながらも個性を活かした作品を創り上げました。完成した作品は、各家庭に飾り生活を彩ります。

朝日支部　１日研修会

お寺の見学や花を観賞などがプランの1日研修会！部員同士の交流が深まる他、日々の刺激にもなりますね♪

フードドライブ活動

ＳＤＧｓの一環としてフードロス削減と地域貢献のため、山形県や鶴岡市、庄内町の社会福祉協議会へ食料品など100点以上を寄贈しました。今年度からは三川町にも寄付を行います。「もったいない」を「ありがとう」に変えていくことをモットーに継続して行っている活動です。

フードドライブって？
家庭で余っている食品を学校や職場などに持ち寄り、食べ物を必要とする団体や施設に寄付をする活動のこと。

パルシステム埼玉との女性交流会

女性部役員らが埼玉県さいたま市に赴き、生活協同組合パルシステム埼玉の組合員らと山形のおいしい郷土料理を一緒に作り交流を深めています。今年度は、11月16～17日の２日間で行われ、孟宗汁や玉こんにゃくを作り、県産米「つや姫」も味わいました。

女性部各支部の

温海支部　ローラーワークス

ワイヤーを巻き付けて作る手芸に挑戦！細かい作業は大変ですが協力して完成した時は達成感を感じますね♪

新余目支部　そば打ち体験

そば粉と強力粉に空気を入れながら混ぜ生地を丁寧に伸ばし…集中して生地を切り完成！出来上がったそばはざるそばにして味わいました！

立川支部　ガーデニング講習会

プランターへの花の植え方や手入れの仕方を営農課より学びました。それぞれ好みの花の苗を持ち帰り、満開を楽しみに丁寧に育てます。

藤島支部　座談会

加工事業や今後の活動などについて協議されました。地域の資源を活かし、自給運動や地産地消に取り組むことや手作りの良さなどJA役職員らと話し合いました。

その他、JA役員と女性部の意見交換会やリーダー研修会などを毎年行い、JAへの参画や部員同士のふれあいを大切にしています。今後も輝く活動に注目です！

地域とJAを結ぶネットワーク　各地の話題を追って

JA NEWS

鶴岡市へカーブミラーを寄贈

ＪＡ庄内たがわとＪＡ鶴岡、ＪＡ共済連山形は11月22日、地域住民の交通安全と事故防止に役立ててもらおうと鶴岡市にカーブミラー21基を寄贈した。寄贈は地域貢献活動の一環として1973年から始まり、50年間継続され、累計で1536基となっている。当ＪＡの海藤喜久男組合長とＪＡ鶴岡の佐藤茂一組合長が皆川治市長に目録とカーブミラーのレプリカを手渡した。皆川市長は「関係団体と連携し、交通事故を減らし交通安全に繋げられるよう有効活用させていただきたい」と話した。ＪＡ共済連山形からは、建物更生共済における自然災害に対する共済金の支払状況などが説明された。

鶴岡市へ農林予算編成の要請書を提出

ＪＡとＪＡ農政対策推進協議会は11月22日、鶴岡市へ来年度農林予算編成にあたっての要請書を提出した。生産者の努力だけでは対応できない状況を踏まえ、生産者が営農継続の意欲を持てるよう①燃油高騰・生産資材価格高騰への対策②各種セーフティネットへの加入拡大・促進に向けた対策③農業用施設の長寿命化への支援④鳥獣害対策について強く要請した。中でも、イノシシが破壊した農地を復旧するための重機に対する支援の他、果樹生産において課題となっている担い手の高齢化などによる栽培面積の減少に対し、園地継承支援対策の構築に必要な情報を収集することを新たに要請した。

柿しぐれ・肥大と糖度良好

櫛引地域にある青果物集出荷施設で11月21日、「柿しぐれ」の荷受け作業が行われ、園芸特産指導員と集出荷場作業員により入念な品質確認を実施した。「柿しぐれ」は、黒糖のような濃い甘みとゴマ入りの果肉が特徴の樹上脱渋柿である。今年産の生育は、夏場の高温による果実表面の日焼けや黒斑の他、クマによる食害が見受けられ、約２割の減収となったが、肥大状況は良好で３Ｌサイズ主体で収穫され、糖度も14度以上を確保した。生産者らによる適切な脱渋作業と防除などの栽培管理の徹底により高品質に仕上がった。集荷された柿しぐれは、主に関東市場へ出荷された。

スプレー菊・来年産の安定生産に向け品種を検討

花き部会菊・スプレー菊専門部は11月22日、藤島支所でスプレー菊の品種説明会を開いた。管内の菊生産者に来年産作付けの参考にしてもらおうと取引メーカーである㈱デュメンオレンジジャパン、㈱イノチオ精興園、㈱デリフロールジャパン、㈱セレクタジャパンの４社が特に販売に力を入れていきたい品種や新品種について説明した。今年産は、夏季の高温の影響で開花遅れが多く見受けられたため、暑さに強く開花しやすい品種を中心に各社がＰＲ。参加した部員ら約20人は、暑さ対策の他、立ち枯れや色抜けしにくい品種、夏開花を目指した栽培フローチャートなどに注目しながら真剣に聞き入っていた。

新酒2023、味わい良く仕上がり

月山ワイン山ぶどう研究所から数量限定約2000本の新酒2023が発売された。今年度は10月12日から産直んめ農マルシェや同産直オンラインショップ、県内スーパーマーケットで販売されている。新酒ワインは、櫛引地域の西荒屋ブドウ「デラウェア」を100％使用したやや甘口のワイン。デラウェアの甘くフルーティーな香りとすっきりとした酸味が特徴だ。ボトルラベルは、鶴岡市の伝統工芸品「御殿まり」をイメージして作られ、美しい色彩と艶やかな模様の組み合わせが特徴だ。同研究所の成澤健所長は「自宅で楽しむ他、贈り物などにもおすすめ。数量限定品なのでぜひ多くの方に手に取ってもらい味わっていただきたい」と話した。

長芋・目揃え会で出荷調整作業などを確認

ＪＡ管内で長芋を栽培する生産者は11月24日、羽黒地域の集出荷場で出荷目揃え会を行った。同生産者らと園芸特産指導員、販売担当職員４人は、出荷規格や調整作業などを確認した。同指導員は、つる首落としは親指大の大きさにする他、曲がりの大きいものや表面に大きな傷があるものはＢ品とし、Ａ品Ｂ品共にカットした長芋にはおが屑をつけて出荷するよう呼び掛けた。今年産は、全体的に大きく生育したが、夏季の高温の影響で肥大の停滞や曲がりが見受けられた。ＪＡでは今後、高温障害を受けた長芋も訳あり品として出荷できるよう検討し、12月中旬まで地元市場を中心に出荷していく。

トルコギキョウ・来年度に向けた対策を確認

花き部会トルコギキョウ専門部は11月15日、新余目支所で出荷反省会を開いた。部会員約30人が参加し、今年産の生育状況や販売実績などを振り返った。今年産の年内定植・季咲定植は、３月から平年よりやや高めの気温で推移し生育は良好である他、６月下旬から７月中旬頃まで平年よりやや高温となり、開花が少し前進傾向に推移した。抑制栽培では、７月下旬から９月上旬までの記録的な高温で生育・開花は例年にないほどの前進傾向となった。来年産は、高温対策として送風によりハウス内をできるだけ涼しく保つ他、潅水チューブや点滴チューブなどを設置して十分な潅水を行っていく。

干し柿・出荷規格確認し意識統一

干し柿出荷グループは11月22日、羽黒支所で目揃え会を開いた。生産者ら約10人が参加し、出荷規格や加工のポイントなどを入念に確認した。今年産は、高温が続いたことで着色が遅れた他、軟化が早かったため、早めの収穫で品質維持に努めた。この日は、園芸特産指導員が出荷規格について説明。あめ色で斑点がない他、固すぎず粉の吹いているものをＡ品とし、重量などを確認して出荷するよう呼び掛けた。また、乾燥温度は30～35℃を適温とし、45℃以上にならないよう注意しながら大きい柿はしっかりと乾燥させることとした。出荷は、主に関東方面に向けて２月下旬まで続く予定だ。

女性部・福祉施設で大正琴を演奏

女性部藤島支部「大正琴愛好会」は11月９日、藤島地域にあるＪＡ通所介護施設「えがお・デ・あいと」で演奏会を行った。童謡や演歌など全４曲を綺麗な音色で披露し、利用者も一緒に歌いながら楽しんだ。同愛好会では、女性部まつりや地域の施設で演奏会を行っており、同施設では新型コロナの自粛期間後５年ぶりの開催となった。童謡「もみじ」や馴染みの演歌を聞いた利用者は「懐かしい曲を聞き感動した。ぜひまた聞きたい」と笑顔で話した。同愛好会会員らは「喜んでもらえた時が一番やりがいを感じる。今後は、いろいろな地域でも演奏できるよう楽しく練習を続けていきたい」と話した。

児童らがカントリーエレベーターを施設見学

羽黒小学校の５年生児童ら約30人が11月２日、羽黒支所にあるカントリーエレベーターと米倉庫の施設見学を行い、地域の施設や農業への知識を深めた。施設見学では、籾を手に取って観察した他、天井近くまで積み上げられた米袋に児童らは声を上げて興味を示していた。１袋30㌔ある米袋を協力して持ち上げる体験なども行い、重い米袋に苦戦しながらも楽しんだ。また、児童からは「倉庫のお米はどのくらいの量があるのか」「よく転作される果実・野菜は何か」などの質問が投げ掛けられた。同支所の鈴木繁則営農課長は「米作りや農業に興味を持つきっかけになって欲しい」と期待を込めた。

女性大学「あいとスクール」閉校式

ＪＡは11月29日、本所で女性大学「あいとスクール」の今年度第16期閉校式を開いた。参加した受講生ら13人は、海藤喜久男組合長から修了証書を一人ずつ授与され全４講座の受講を修了した。今回は、卒業記念制作としてクリスマスツリーのクラフト制作を行い、レザー生地をクリスマスツリーの形へ切り取り、華やかな飾りやレースを張り付ける細かい作業に受講生らは真剣な表情で取り組んでいた。完成した作品は、並べて写真を撮るなどして楽しんだ。参加した受講生は「普段体験できない事を楽しめた」と笑顔で話した。今後は、受講生からのアンケートを参考に来年度へ向け企画を検討していく。

地元で収穫した大豆で豆腐作りを学ぶ

ＪＡ管内で収穫した大豆を使って藤島小学校が11月28日、ＪＡ農産加工技術研修施設で豆腐作り学習会を開いた。この施設は、地産地消を通じて地域のふれあいの場として豆腐や味噌造りなどを行っている。この日は、同ＪＡ女性部シーダーの佐藤啓子さんらが講師となり、同小学校の４年生22名を対象に大豆が豆腐になるまでの過程を説明。蒸した大豆を濾した後の、出来立てあつあつの豆乳を実際に試飲したり、その過程でできる「おから」を袋詰めをするなどの体験を行った。シーダーの冨樫菊子さんは「おからは熱処理をしているので生で食べることができる。ぜひサラダに使ってみてほしい」と話した。

園芸特集

ストック 一緒に作りませんか？

ポイント①

ＪＡ庄内たがわでは種苗センターで育苗をしているため、発芽率の心配がありません。また、苗の段階で鑑別し商品価値が高い八重咲の株を残し、一重の株を取り除くため八重鑑別がやりやすい点が魅力です。

ポイント②

所得目安　10a当たりの粗収益
22,000本×単価70円＝1,540,000円
⇒所得率32.1%（減価償却を除く）
＝所得：約490,000円

ＪＡでは、新規作付・収量確保に向けて全力でサポートしていきます！
ご興味のある方は、営農販売部園芸特産課までご相談ください。
☎0235-64-5831　✉entoku@ja-shonai.or.jp

YouTubeもチェックしてね！

☆ストックの魅力や栽培のポイントをYouTubeでご覧いただけます！

ストックをあなたへ～出荷調整編～

ストックをあなたへ～八重鑑別編～

ストックをあなたへ

共済Q&A

Q まとまった資金で加入できる共済はありますか？

A ご自身やご家族の保障など、これからの生活プランやリスクに備えた共済がございます。
その中でも**一時払介護共済**をご紹介します。

ポイント1
一生涯にわたる介護保障。高齢期も安心です。

ポイント2
公的介護保険に連動。
①要介護2～5に認定されたとき
②所定の重度要介護状態になったとき

ポイント3
死亡給付金は相続対策にご活用できます。

ご加入いただける年齢　40～75歳
〈ご契約例〉加入年齢：60歳　男性
一時払共済金額：100万円

1,000,000円

予定利率 **1.1%**（参考）

1,290,569円
（死亡共済金1,000,000円）

ご加入、共済金のお支払いには条件がございます。
詳しくは、お近くのJA庄内たがわ共済課窓口へお問い合わせ願います。

土日はポイント5倍

JA庄内たがわ 産直 んめ農マルシェ 12月イベントのお知らせ

SNSもチェックしてね！

12月はお米の送料がお得！

10キロまで 800円（税込）

※沖縄・一部離島を除く。
※当店でお米を購入し発送する場合に限ります。
※お米のみの発送する場合の料金となっております。

12/23㈯～31㈰ 歳末セール

北海道商品 一部割引

月山ワイン商品（原液・ジュース含む） 10%割引（専用箱・袋などは対象外）

12/16㈯・17㈰ お餅売り場拡大

切り餅、丸餅、お供え餅を多数ご用意しております！

年末年始のお知らせ　年内12月31日㈫は午後15時まで営業。初売りは新年 令和6年1月4日㈭より（1月1日～3日はお休み）

JAカードでお買い上げの方は 請求時に5%割引！

※写真・イラストはイメージです。予告なくイベント内容が変更となる場合がございます。ご了承ください。

10月から3月までの営業時間9:00～17:30(定休日:1/1～3, 1～3月の第2・第4水曜日)
なお、営業時間は諸事情により変更になる場合があります。変更の際は、ホームページなどにてお知らせします。
〒997-0824 鶴岡市日枝字小真木原88-1　TEL0235-25-6778　FAX0235-26-7880　E-mail sanchoku@ja-shonai.or.jp

農産物を出荷していただける産直協力会員を随時募集しています！　オンラインショップ　産直んめ農マルシェ　検索

X（旧Twitter） @jashonai730

Instagram ja_shonai.marche

LINE ID @498zaito

俳句

添削指導 阿部月山子先生

㊤は特選、㊥は添削

㊤ 山の湯や　七味ふた振り　走り蕎麦　鶴岡市熊出　渡部　嚴

㊤ 菊の香や　厨で昭和　歌謡聴く　鶴岡市東岩本　高梨　秀子

㊤ 床の間に　差し込む朝日　秋海棠　庄内町余目　早坂　宗笑

㊤ 渋抜の　袋外せば　柿は朱に　鶴岡市東岩本　小野寺弥一

㊤ 収穫に　村人せはし　里の秋　鶴岡市越中山　菅原しづ子

㊤ 高空を　白鳥の列　渡り来る　鶴岡市関根　長谷川慶子

㊤ 杣の道　落ちる胡桃の　草隠れ　鶴岡市越中山　佐藤　照子

㊤ ざっくりと　混ぜて上々　栗おこは　鶴岡市本郷　小野寺一郎

〔評〕秋は新米の気節ですが、同様に新蕎麦の気節でもある。山形県は長野県に負けない蕎麦県である。七味のふた振りが拘である。

〔評〕中村草田男の名句に「降る雪や明治は遠くなりにけり」がある。平成から令和と時代が変った現在、時代、昭和も遠くなったと思う。

〔評〕農作物の収穫技術も年々進歩してきた。庄内柿の渋抜も脱渋剤を入れた袋の中に青柿を入れて置くと渋が抜けて柿は赤くなる。

〔評〕秋海棠や秋明菊は秋を代表する草花で心をなごやかにしてくれます。

〔評〕胡桃を食べるのは人間と栗鼠。最近は猫もその味を覚えた。木から落ちた胡桃は草の中に隠れる。

〔評〕多くの作物が収穫の気節を迎えて活気が漲っている。村人せはしの表現でわかる。

〔評〕近年は白鳥や鴨等も地球の気候の変化で渡るのに苦労をしている。今年も多くの白鳥が渡って来た。

〔評〕今年は栗や果樹が不作もあり、熊や猿の食害にあう事が多く、山どころでは人が熊等に遭遇するというニュースが多かった。それでも具沢山の栗おこは姑さんが喜んでくれる。

議案報告 理事会だより

令和5年11月27日㈪

《議案》
第1号　令和5年度10月末実績検討について
第2号　固定資産の処分について（案）
第3号　出資金の減口について（案）
第4号　販売業務規程（規402）の改定について（案）
第5号　「第10次中期経営計画策定」の1年延長について（案）
第6号　理事と組合間の利益相反取引の承認について（案）
第7号　外部出資の引受けについて（案）
第8号　令和5年産米概算金追加払い設定について（案）
第9号　令和5年産大豆仮渡金の設定について（案）

以上9議案、慎重に審議され原案通り決定されました。

《報告事項》
・組合員の異動について
・管理・金融担当委員会報告について
・飛翔会新年賀詞交歓会の開催について
・令和6年度正職員登用試験の受験者募集について
・「ATM・ネットバンク定期貯金」適用金利の変更について
・令和5年度資産の自己査定（9月末基準）結果について
・交通安全機器の寄贈について
・営農経済担当委員会報告について
・不祥事再発防止策（兼整備計画）の進捗状況について
・その他

「心の声」2月号投稿のテーマ
「あなたが2024年にチャレンジしたいことは？」

【応募方法】下記の①～③を郵便はがき・Eメールにご記入の上ご投稿ください。①テーマの答え（本紙やホームページ等で掲載致します）②住所・氏名・年齢・電話番号③広報誌の感想、JAへの意見・要望など
【あて先】JA庄内たがわ広報情報係　〒999-7611 鶴岡市上藤島字備中下3-1
E-mail kouhou@ja-shonai.or.jp
【しめきり】令和6年1月31日㈬ 当日消印有効　※投稿頂いた方の個人情報は、目的以外には使用いたしません。

今月のプレゼント

ソレイユ・ルバン ロゼ　2名様

未来のために お金の準備、はじめませんか？

©よりぞう

国も後押し　メリットのある税制優遇制度を活用しよう！

NISA（ニーサ）	つみたてNISA	iDeCo（イデコ）	農業者年金
少額から投資を行う方の非課税制度	特に少額から長期・積立・分散投資を支援するための非課税制度	自分で決めた額（掛金）を積み立てて運用し、60歳以降に受け取る年金制度	農業者（農家）を応援する確定拠出型の担い手積立年金基金制度

令和6年1月より新NISA制度が始まります。

お問い合わせは各支所貯金窓口まで

庄内町秋のフラワーショー グランプリに斎藤恭子さん（新余目）

庄内町と同町花き振興会が主催する庄内町秋のフラワーショーが16日～18日の3日間、同町にある庄内町文化創造館響ホールで開かれた。このフラワーショーは、毎年7月と11月に行っており、今回は、ストックやトルコギキョウ、スプレイ菊などが出品された。

出品数42点の中からJA庄内たがわ花き部会の斎藤恭子さんが栽培したスタンダードストック「ヴィンテージブラウン」がグランプリ、押切範雄さんのスプレイストック「ホワイトスパーク」が金賞に輝いた。

18日は、出品された花の販売会が行われ、事前抽選で当選した購入者へ切り花や鉢物、フラワーアレンジ作品が手渡された。

デイサービス えがお・デ・あいと

認知症マフの活用について学びました

「認知症マフ」とは、認知症ケアの一環として使われる筒状のニット製品で、筒の内側には握ってちょうどよい大きさのアクセサリーが付いており、「にぎにぎ」することにより安心感が得られ心身の緊張を解きほぐす等の効果が期待されます。

「認知症マフ」作りに挑戦!!

「つるおかオレンジサポートの会」のボランティアさんを講師にデイサービスの利用者様と一緒に「認知症マフ」の編み方やアクセサリーの付け方などを安全なマフの作り方を学びました。

また、JA職員の方から多くのマフを提供いただきましたので活用させていただきます。ありがとうございました。

総務部福祉介護課　TEL:0235-33-8165　FAX:0235-33-8166
E-mail:fukushi@ja-shonai.or.jp

あなたのおうちへ 福をマネ～く

『家の光』12月号・1月号 購読申込受付中！

1月号 別冊付録

12月号 第1・第2 別冊付録

家の光

定価（税込）
●普通月号 629円
●付録月号（1・4・5・7・9月号）922円
●家計簿付き12月号 1,027円

お申し込みはお近くのJAへ

JAグループ 家の光協会　〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11　[TEL] 03-3266-9039　http://www.ienohikari.net

©umetigiri

斎藤（さいとう）　沙紀（さき）さん
新余目支所管内

看護師の仕事を頑張っています。休日は料理に挑戦したり友人とショッピングしたりして楽しんでいます。最近ジムへ通い始めたので継続していけるよう頑張りたいです！

撮影場所＝庄内町文化創造館「響ホール」

「心の声」

今までもらったプレゼントで一番嬉しかったものは？

いつもお世話になっている方から、aito11月号を持って来られ、「毎回、読んでたよ」と話され、一切「心の声」の事は話してないので、もう、びっくりと同時に最高に嬉しくです。最高の言葉のプレゼントです。

Y・Sさん【櫛引】

私が今までもらったプレゼントで一番嬉しかったのは、娘が３才くらいの頃に私にプレゼントしてくれた「ハート型の小石」です。娘と散歩していた時に「パパ、かわいいハートの石を見つけたから誕生日のプレゼントにあげる」と言って、初めて娘からのプレゼントをもらいました。本当にすべすべしてかわいいハート型の石でした。今まで、小物入れにしまっている大切な宝物です。

K・Yさん【朝日】

誕生日にもらった花束です。主人が病気により手術退院後、無事職場復帰し、数ヵ月後、私の誕生日に思いがけない事にとても素敵な花束をプレゼントしてくれたのです。いつも優しい主人ですが、とても幸福な気持ちになりました。感謝あるのみです。

K・Sさん【鶴岡市】

有名店のアイスケーキ。取り寄せでしか食べれないところなので嬉しかった。

N・Sさん【鶴岡市】

今思うと少々恥ずかしいものがありますが、小学生の頃(男性の私)、〝女児用のワンピース水着〟を母親の友人の方が贈ってくれました。上半身が裸なのが嫌なことをふと口にしたら、「うちの子（娘）大きくなって…」。人の目を気にすることなく、海水浴を楽しみました。M･Tさん【新潟県】

娘が小学六年の時、母の日に全財産はたいて紅筆をプレゼントしてくれたことです。今も現役で使っています。後からわかったことですが、私を見ての無言のメッセージでした。

S・Mさん【新潟県】

ふるさと納税を申し込んだときに、新しい服を申し込んで買えたことが幸せでした。　K・Tさん【埼玉県】

手作りのメッセージカード

A・Oさん【大阪府】

ホームページ　X（旧Twitter）　Instagram

JA庄内たがわ aito　Dev 2023 No.345

発行／庄内たがわ農業協同組合
〒999-7611　山形県鶴岡市上藤島字備中下3-1
TEL.0235-64-3000　電子メール tagawa@ja-shonai.or.jp
印刷／庄内農村工業農業協同組合連合会